

# 地域の皆さんとともに考える

## まちづくり懇談会

宇都宮市のまちづくりなどについて、地域の皆さんと市長が直接話し合う「まちづくり懇談会」。この懇談会は、各地域のまちづくり組織との共催により、市内39地区で開催しています。今回は、7・8月に開催した結果と主な意見を紹介します。この懇談会の詳しい内容は、市ホームページ、開催地区の地域コミュニティセンターでご覧になれます。

問 広報広聴課 ☎(632)2022

### ① 災害時要援護者の対策について

#### 意見



近年、集中豪雨による自然災害が発生し、独り暮らしの高齢者など（災害時要援護者）の被災が発生している。

市では災害時に備え、災害時要援護者のうち避難支援を

希望する人に対する支援体制を整備しているが、地域においても、自治会の班単位で支援ができるように対応していきたいので、支援希望者に関する情報提供や地域での取り組みに対する助言をお願いしたい。

#### 回答

災害時に備え、地域と行政が一体となって支援体制をつくるのが大切です。

まず、市としては、支援希望者を早急に把握し、その後地域と個人情報保護に関する

### 開催結果

| 回 | 地区 | 開催日      | 会場             | 参加者数 | 意見数 |
|---|----|----------|----------------|------|-----|
| 1 | 石井 | 7月18日(金) | 石井地域コミュニティセンター | 45人  | 11件 |
| 2 | 陽光 | 8月8日(金)  | 陽光地域コミュニティセンター | 57人  | 13件 |

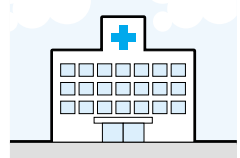
### ② 救急医療体制について

#### 意見

最近、近所で起きる急車が到着しても病院が見つ

協定を結び、支援希望者の情報を地域に提供していきたいと考えています。また、地域に対する説明会や研修会を開催するなど、地域の取り組みを積極的に支援していきまますので、ご協力をお願いします。

からないため、すぐに搬送できないことがあった。早急な解決は難しいかと思うが、市民が安心して暮らせるように、市としても、問題解決に向けて努力していただきたい。



#### 回答

救急医療体制については、搬送体制も含め、関係機関が参加して救急医療対策連絡協議会を間もなく立ち上げ、検討を始めます。救急医療機関については、救急車で搬送される場合は二次救急以上となります。

現在、二次救急医療機関については、国立病院機構栃木病院など3病院が輪番制で対応しており、そのほかに救急告示医療機関があります。全体で14病院・3診療所しかありません。このような状況から、症状によってどの救急レベルの病院に行くべきかを皆さんに知ってもらつたため、昨年度からこれらの普及啓発に取り組んでいますので、ご理解、ご協力をお願いします。

### ③ 備品の有効活用について

#### 意見

以前、小学校に金管バンドがあったが、現在は活動していないため、楽器が小学校に眠っている状態である。ぜひ、これらの楽器を有効に活用してほしい。

#### 回答

現在、市では「もつたない運動」に取り組んでおり、6月に「第2回もつたない全国大会」も開催しました。「もつたない」という精神は何にでも通じるものであり、例えば、学校における「もつたない運動」としては、ご意見にあったように、各学校にある遊休楽器を全部集めて修理し、必要としている学校で再利用してもらつて実践しました。

さらには、各学校間で貸し借りなどが可能な物品リストをパソコンで管理して、容易に貸し借りなどができるよう取り組みも行っていきます。今回のご意見にありました楽器についても、今後、有効に活用してまいります。

本文中に費用などの記載がないものは、原則として無料  
HP＝ホームページ、☑＝Eメールアドレス